

株式会社 彫刻プラスト

環境保全に適合する
食品包装材料の開発に
強みをもつ、
パッケージ・カンパニー

大阪府
寝屋川市葛原2-1-3

1962年(昭和37年)設立
TEL 072-838-4487

代表取締役社長
高橋 盛

<http://www.chokokuplast.co.jp>

フレキシブル包装材を中心とする、機能パッケージの開発・製造、プラスチック・フィルムへの特殊コーティングなど、新発想の機能包材を提案し、その開発加工技術は、特許登録済・出願中をあわせて十数件。

食品などを保護する高機能包装材料とは

同社の開発加工技術は、例えば【数回開閉しても食品を安全に保存し続ける、という機能】イーザーオープン・リクローズ機能、『フラットジップ』は消費者の利便性向上に大きく貢献するものとして注目されている。【パッケージのまま、電子レンジ調理が可能、という機能】電子レンジ対応パウチ、開封せずにレンジアップ可能という利便性に加え、加熱ムラや吹きこぼれを抑えた、『せいろパック』の開発に成功し、アジア地域へも輸出されている。【食品がスマートに美しく飾られる、という機能】『エッジスタンド』、商品のディスプレイに場所をとられず、一際目立つパッケージはセールス・プロモーションの手段でありディスプレイ効果を高める。グッドデザイン賞(日本)、More Different賞(フランス)を受賞。

環境とコスト最小化に配慮した包材設計

2000年4月の『容器包材リサイクル法』により、パッケージの減量化とリサイクル費用の負担を最小限にしたり、Co2排出量削減をふくむ環境に優しいパッケージ開発に取り組んでいます。

生産体制と生産プロセス

24時間稼働可能な生産体制で、最高品質のデジタルデータを供給できる効率的な環境、最良のデザイン・製版データをスピーディーに制作。

ユーザーの既存包装ラインで使用できるcost-consciousな機能包材を提供。

また、ユーザーの商品サイクルの短縮化や生産量の小ロット化にも対応し、デザイン・画像処理⇒製版⇒印刷⇒ラミネート⇒製袋・仕上げ⇒コーティングの、企画から納品までをすべて自社の最新設備で行っています。

